

2012 年度 中央大学特定課題研究費 一研究報告書一

所属	法学部	身分	教授
氏名	鈴木 彰雄		
NAME			

1. 研究課題

(和文) 終末期医療の制度的保障

(英文)

2. 研究期間

2年間

3. 研究の概要 (背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600 字程度、英文 50word 程度)

(和文)

近年、終末期の医療の在り方について活発な議論が展開されている。わが国においては、これまで「安楽死」あるいは「尊厳死」の問題として議論されてきたが、「東海大学病院事件」判決（横浜地判平 7.3.28）および「川崎協同病院事件」決定（最決平 21.12.7）を契機として、延命治療の中止の問題に関心が集まるようになった。

そこで本研究は、終末期医療の中止の問題をテーマとして、わが国とドイツの法状況を比較し、刑事法的観点からその許容される条件を明らかにしようとするものである。ドイツにおいては、終末期医療の中止について一定の要件を設定するとともに、当事者間で争いのある問題については裁判所が関与して、司法的コントロールのもとに置こうとする傾向がある。こうした考え方をわが国に導入できないかを検討する。

(英文)

4. おもな発表論文等 (予定を含む)

【学術論文】(著者名、論文題目、誌名、査読の有無、巻号、頁、発行年月)

本研究の成果を学術論文として発表する。掲載誌として「法学新報」または「比較法雑誌」を予定している。

【学会発表】(発表者名、発表題目、学会名、開催地、開催年月)

【図 書】(著者名、出版社名、書名、刊行年)

【その他】(知的財産権、ニュースリリース等)